



2024年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月10日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 野村秀輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ統括 (氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785
 定時株主総会開催予定日 2024年7月25日 配当支払開始予定日 2024年7月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年7月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期の連結業績(2023年5月1日~2024年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期	29,840	12.9	1,700	25.3	1,719	27.0	1,084	25.4
2023年4月期	26,429	12.9	1,357	12.9	1,354	11.5	865	21.8

(注) 包括利益 2024年4月期 1,103百万円(29.6%) 2023年4月期 851百万円(13.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年4月期	85.78	—	16.7	13.4	5.7
2023年4月期	68.50	—	15.3	12.0	5.1

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期	13,624	7,139	51.0	549.41
2023年4月期	12,063	6,244	50.0	477.89

(参考) 自己資本 2024年4月期 6,950百万円 2023年4月期 6,036百万円

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月期	576	△592	140	3,506
2023年4月期	998	△197	△102	3,362

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00	126	14.6	2.2
2024年4月期	—	12.00	—	7.00	—	164	15.2	2.5
2025年4月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00	—	14.6	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年4月期の1株当たり期末配当金は14円となり、通期合計では26円となります。

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,381	14.2	780	1.9	779	△0.1	507	△3.8	40.10
通期	33,987	13.9	1,816	6.8	1,815	5.6	1,210	11.6	95.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年4月期	12,752,000株	2023年4月期	12,752,000株
② 期末自己株式数	2024年4月期	101,502株	2023年4月期	119,936株
③ 期中平均株式数	2024年4月期	12,645,159株	2023年4月期	12,628,740株

（注）2023年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や日経平均の史上最高値の更新、賃上げの浸透、個人消費の持ち直しなど明るい話題もありましたが、過度の円安進行やインフレの継続、中国・欧米の経済の減速、能登半島地震の発生など引き続き厳しい景況感で推移致しました。

美容サロン業界におきましては、来店客数の増加や値上げを伴う顧客単価の上昇など、緩やかではありますが回復基調が続いております。

そのような状況下、当社グループではサロンビジネスの繁栄に貢献するべく、取扱カテゴリーや商品数の拡大、利便性の向上、提供サービスの強化等に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は29,840,901千円（前年同期比12.9%増）、売上総利益は7,500,429千円（前年同期比11.6%増）、営業利益は1,700,175千円（前年同期比25.3%増）、経常利益は1,719,818千円（前年同期比27.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,084,677千円（前年同期比25.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アिरラッシュサロン等のいわゆる美容サロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善に努めるとともに、ChatGPTによるEC問合せのAI対応の開始、鍼灸院・整骨院向け商材の取扱い開始等、美容商材流通のプラットフォームとしての役割を強化してまいりました。

この結果、物販事業全体としての売上高は24,534,541千円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は1,470,897千円（前年同期比32.2%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンにおける独立開業を目指す顧客から高い支持を得ております。

当連結会計年度におきましては、若手デザイナー達の育成に伴う戦力化や業績連動報酬制度の強化も寄与し、美容サロン・クリニックを中心に、順調に案件を獲得することが出来ました。

この結果、当事業の売上高は3,376,555千円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は197,167千円（前年同期比6.1%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、AI開業相談を開始することで開業相談対応の質の向上を図るとともに、各種ソリューションサービスへの誘導強化を図ってまいりました。また、年度末にはメディア事業を強化すべく美容業界専門出版社の株式会社女性モード社の子会社化を実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,929,804千円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は251,165千円（前年同期比1.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、10,921百万円となりました。これは、主に現金及び預金と棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて16.3%増加し、2,703百万円となりました。これは、主に有形・無形固定資産の償却による減少があったものの、投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、4,585百万円となりました。これは、主に仕入債務と1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて40.1%増加し、1,899百万円となりました。これは、主に長期借入金と契約負債の増加があったことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて14.3%増加し、7,139百万円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少202百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加1,084百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、3,506百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、576百万円（前年同期は998百万円増加）となりました。これは、主に棚卸資産の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、592百万円（前年同期は197百万円減少）となりました。これは、主に無形固定資産の取得及び敷金・保証金の差入れ、投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、140百万円（前年同期は102百万円減少）となりました。これは、借入債務の返済による支出及び配当金の支払による支出があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、美容サロンの値上げに伴い顧客単価が上昇する一方でインフレ・円安を背景に仕入れコストが更に増加し、サロンの経営環境が悪化していくことが予想されます。IT・物流を最大限に活用し、競合他社と比べて比較的価格競争力の強い当社にも好影響が予想されるその一方で、当社ビジネスにおいては、円安、原材料高・エネルギーコストの上昇といった厳しい事業環境が続くことも見込まれております。

そのような見通しの中で、当社は業務効率の改善やスケールメリットの創出によって価格競争力の維持や提供サービスのレベルアップを図り、BtoB美容業界向けECプラットフォームとしての圧倒的な地位を確立してまいりたいと考えております。

2025年4月期は、ECサイトのUI/UXの進化・改善を進めていくとともに、引き続き商品ラインアップの拡充、提供サービスの強化を目指してまいります。また、デジタル化促進が見込まれる美容業界の中で更なるシェア獲得に注力してまいり所存です。また、2025年4月期には翌期（2025年5月）に開設を予定しております第3DCに伴う諸費用（賃借料、人件費、事務・消耗品費）として約250百万円の費用計上を予定しております。

以上により、2025年4月期の連結業績予想につきましては、売上高33,987百万円（前年同期比113.9%）、営業利益1,816百万円（前年同期比106.8%）、経常利益1,815百万円（前年同期比105.6%）、親会社に帰属する当期純利益1,210百万円（前年同期比111.6%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当連結会計年度 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383,182	3,523,768
受取手形、売掛金及び契約資産	2,662,700	2,869,968
リース投資資産	188,990	242,469
営業投資有価証券	179,659	161,984
商品及び製品	2,562,505	3,199,442
仕掛品	106,504	150,992
前渡金	162,193	221,950
その他	509,071	571,070
貸倒引当金	△14,883	△20,226
流動資産合計	9,739,925	10,921,420
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	219,925	207,026
機械及び装置（純額）	36,897	29,497
車両運搬具（純額）	2,019	1,075
工具器具備品（純額）	59,806	48,363
土地	38,099	39,870
その他	20,774	△0
有形固定資産合計	377,523	325,832
無形固定資産		
ソフトウェア	308,956	327,012
のれん	277,712	207,837
その他	23,539	7,684
無形固定資産合計	610,208	542,533
投資その他の資産		
投資有価証券	85,083	196,868
繰延税金資産	278,420	313,785
敷金保証金	890,690	1,241,521
その他	84,715	85,378
貸倒引当金	△2,748	△2,748
投資その他の資産合計	1,336,161	1,834,804
固定資産合計	2,323,893	2,703,170
資産合計	12,063,819	13,624,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当連結会計年度 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,752,390	2,015,919
短期借入金	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	454,237	538,012
未払金	413,393	394,208
未払法人税等	321,576	381,522
前受金	632,438	523,389
賞与引当金	79,629	89,396
製品保証引当金	14,027	9,781
受注損失引当金	445	3,798
株主優待引当金	3,900	3,900
株式報酬引当金	34,056	15,202
その他	742,220	605,498
流動負債合計	4,463,314	4,585,627
固定負債		
長期借入金	769,311	1,094,604
退職給付に係る負債	5,865	42,492
契約負債	212,833	262,722
資産除去債務	65,163	65,223
その他	302,699	434,208
固定負債合計	1,355,871	1,899,251
負債合計	5,819,186	6,484,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	771,686	794,585
利益剰余金	4,586,557	5,469,011
自己株式	△95,247	△80,608
株主資本合計	6,031,381	6,951,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	2,776
為替換算調整勘定	5,389	△3,864
その他の包括利益累計額合計	5,389	△1,088
非支配株主持分	207,862	189,426
純資産合計	6,244,632	7,139,712
負債純資産合計	12,063,819	13,624,591

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
売上高	26,429,547	29,840,901
売上原価	19,707,869	22,340,472
売上総利益	6,721,677	7,500,429
販売費及び一般管理費	5,364,358	5,800,254
営業利益	1,357,318	1,700,175
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,832	8,787
為替差益	—	13,021
受取手数料	7,308	8,768
債権譲渡益	6,098	3,682
その他	7,189	4,147
営業外収益合計	22,428	38,408
営業外費用		
支払利息	4,844	7,824
チャージバック損失	2,277	7,684
為替差損	6,552	—
貸倒引当金繰入額	8,000	—
その他	3,744	3,256
営業外費用合計	25,418	18,765
経常利益	1,354,328	1,719,818
特別利益		
固定資産売却益	46,431	—
特別利益合計	46,431	—
特別損失		
投資有価証券評価損	96,323	—
減損損失	—	14,280
関係会社株式売却損	—	27,737
特別損失合計	96,323	42,018
税金等調整前当期純利益	1,304,436	1,677,800
法人税、住民税及び事業税	521,567	607,552
法人税等調整額	△67,156	△38,247
法人税等合計	454,410	569,305
当期純利益	850,026	1,108,495
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△15,007	23,817
親会社株主に帰属する当期純利益	865,033	1,084,677

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
当期純利益	850,026	1,108,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	2,776
為替換算調整勘定	1,484	△7,342
その他の包括利益合計	1,484	△4,566
包括利益	851,511	1,103,928
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	867,237	1,078,200
非支配株主に係る包括利益	△15,726	25,728

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	780,534	3,822,488	△104,307	5,267,100
当期変動額					
剰余金の配当			△100,963		△100,963
親会社株主に帰属する当期純利益			865,033		865,033
自己株式の取得				△248	△248
自己株式の処分		6,564		9,308	15,872
連結子会社の増資による持分の増減		△15,412			△15,412
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△8,848	764,069	9,059	764,280
当期末残高	768,385	771,686	4,586,557	△95,247	6,031,381

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	3,185	3,185	198,492	5,468,778
当期変動額					
剰余金の配当					△100,963
親会社株主に帰属する当期純利益					865,033
自己株式の取得					△248
自己株式の処分					15,872
連結子会社の増資による持分の増減					△15,412
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	2,203	2,203	9,370	11,574
当期変動額合計	—	2,203	2,203	9,370	775,854
当期末残高	—	5,389	5,389	207,862	6,244,632

当連結会計年度(自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	771,686	4,586,557	△95,247	6,031,381
当期変動額					
剰余金の配当			△202,223		△202,223
親会社株主に帰属する当期純利益			1,084,677		1,084,677
自己株式の取得					—
自己株式の処分		27,297		14,639	41,937
連結子会社の増資による持分の増減					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△4,399			△4,399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	22,898	882,453	14,639	919,992
当期末残高	768,385	794,585	5,469,011	△80,608	6,951,373

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	5,389	5,389	207,862	6,244,632
当期変動額					
剰余金の配当					△202,223
親会社株主に帰属する当期純利益					1,084,677
自己株式の取得					—
自己株式の処分					41,937
連結子会社の増資による持分の増減					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△4,399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,776	△9,253	△6,477	△18,435	△24,912
当期変動額合計	2,776	△9,253	△6,477	△18,435	895,079
当期末残高	2,776	△3,864	△1,088	189,426	7,139,712

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,304,436	1,677,800
減価償却費	229,693	187,249
減損損失	—	14,280
のれん償却額	83,506	77,406
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	96,323	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,773	5,343
契約負債の増減額(△は減少)	45,417	49,889
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,662	△4,245
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	33,622	23,082
その他の引当金の増減額(△は減少)	△441	13,032
受取利息及び受取配当金	△1,832	△8,787
支払利息	4,844	7,824
助成金収入	△1,172	△1,605
有形固定資産売却損益(△は益)	△47,340	△472
固定資産除却損	74	—
売上債権の増減額(△は増加)	△538,618	△171,425
棚卸資産の増減額(△は増加)	△282,642	△764,228
仕入債務の増減額(△は減少)	115,173	255,882
前渡金の増減額(△は増加)	105,744	△62,000
未払金の増減額(△は減少)	29,929	△33,529
未払消費税等の増減額(△は減少)	77,161	△148,135
未払費用の増減額(△は減少)	5,624	26,687
前受金の増減額(△は減少)	103,710	△103,271
その他	71,559	80,602
小計	1,442,212	1,121,378
利息及び配当金の受取額	1,832	8,787
利息及び保証料の支払額	△4,786	△6,753
助成金の受取額	1,172	1,605
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△442,062	△548,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	998,367	576,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,200	△22,400
定期預金の払戻による収入	17,400	25,650
有形固定資産の取得による支出	△68,112	△24,340
有形固定資産の売却による収入	187,909	472
無形固定資産の取得による支出	△96,837	△120,135
投資有価証券の取得による支出	△50,005	△107,783
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	7,329
敷金保証金の差入による支出	△169,402	△387,444
敷金保証金の回収による収入	8,603	37,485
その他	△5,272	△1,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,916	△592,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	—
短期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	530,000	930,000
長期借入金の返済による支出	△535,556	△563,132
リース債務の返済による支出	△5,534	△5,855
自己株式の取得による支出	△248	—
非支配株主からの払込みによる収入	15,200	440
配当金の支払額	△100,987	△202,100
非支配株主への配当金の支払額	△5,632	△8,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,758	140,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,048	19,241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	691,642	143,836
現金及び現金同等物の期首残高	2,670,989	3,362,632
現金及び現金同等物の期末残高	3,362,632	3,506,468

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・ITサポート・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	8,894,035	—	—	8,894,035	—	8,894,035
化粧品等	12,272,810	—	—	12,272,810	—	12,272,810
金属スチール家具	558,594	—	—	558,594	—	558,594
その他	—	3,119,308	1,584,797	4,704,106	—	4,704,106
顧客との契約から生じる収益	21,725,440	3,119,308	1,584,797	26,429,547	—	26,429,547
外部顧客への売上高	21,725,440	3,119,308	1,584,797	26,429,547	—	26,429,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,451	16,987	11,545	53,985	△53,985	—
計	21,750,892	3,136,296	1,596,343	26,483,532	△53,985	26,429,547
セグメント利益	1,112,253	185,850	246,684	1,544,787	△187,468	1,357,318
その他の項目						
減価償却費	213,415	7,918	6,535	227,869	1,823	229,693
のれんの償却費	83,506	—	—	83,506	—	83,506

(注) 1. セグメント利益の調整額△187,468千円には、セグメント間取引消去28,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△215,741千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	9,524,748	—	—	9,524,748	—	9,524,748
化粧品等	14,524,970	—	—	14,524,970	—	14,524,970
金属スチール家具	484,821	—	—	484,821	—	484,821
その他	—	3,376,555	1,929,804	5,306,360	—	5,306,360
顧客との契約から生じる収益	24,534,541	3,376,555	1,929,804	29,840,901	—	29,840,901
外部顧客への売上高	24,534,541	3,376,555	1,929,804	29,840,901	—	29,840,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,648	23,266	7,179	51,094	△51,094	—
計	24,555,189	3,399,822	1,936,984	29,891,996	△51,094	29,840,901
セグメント利益	1,470,897	197,167	251,165	1,919,229	△219,054	1,700,175
その他の項目						
減価償却費	173,421	7,669	5,803	186,893	355	187,249
のれんの償却費	77,406	—	—	77,406	—	77,406

- (注) 1. セグメント利益の調整額△219,054千円には、セグメント間取引消去12,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,505千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては14,280千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり純資産額※3	477.89 円	549.41 円
1株当たり当期純利益金額※2	68.50 円	85.78 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	— 円	— 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	865,033	1,084,677
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	865,033	1,084,677
普通株式の期中平均株式数(株)	12,628,740	12,645,159

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当連結会計年度 (2024年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	6,244,632	7,139,712
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	207,862	189,426
(うち非支配株主持分(千円))	(207,862)	(189,426)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,036,770	6,950,285
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	12,632,064	12,650,498

4. 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。